

合同教育研究会議（12月12日開催）議事概要

1 開催日時

平成30年12月12日（水）13:00～13:50

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、石堂副学長、狩野副学長兼企画本部長、堀江副学長兼事務局長、高橋教育支援本部長、似鳥学生支援本部長、村田研究・地域連携本部長、姜高等教育推進センター長、武田看護学部長、桐田社会福祉学部長、猪股ソフトウェア情報学部長、吉野総合政策学部長、千葉盛岡短期大学部長、松田宮古短期大学部長、浅沼委員（学外委員：名古屋大学名誉教授）

（事務局）葛尾事務局次長兼総務室長、岡部教育支援室長、関屋高等教育室長、坊良学生支援室長、佐藤研究・地域連携室長、菊池企画室長、長崎宮古事務局長、藤根主幹、和山主事

4 会議の概要

議事録確認

前回国議11月14日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

審議事項

なし

協議事項

なし

報告事項（口頭報告）

- (1) 平成30年度就職内定状況（11月末現在）について（資料No.1）
似鳥本部長から資料に基づき、11月末時点の就職内定状況について説明があった。
- (2) 平成30年度後期授業料免除の結果について（資料No.2）
似鳥本部長から資料に基づき、平成30年度後期の授業料免除の結果について報告があった。
- (3) 平成30年度科学研究費助成事業の採択状況について（資料No.3）
村田本部長から資料に基づき、平成30年度の科学研究費助成事業の採択状況について報告があった。
委員から、報告の主旨が伝わるように、資料の中に表だけではなく説明の要旨を入れるほうがよいのではないかとの意見があり、これに対し、村田本部長から、今後の対応は検討するとの説明があった。

(4) 平成 31 年度科学研究費助成事業の応募状況について (資料No.4)

村田本部長から資料に基づき、平成 31 年度の科学研究費助成事業の応募状況について報告があった。

委員から、資料の中に、資料No.3に記載されている数値と一部異なる箇所があるとの指摘があり、これに対し、佐藤研究・地域連携室長から、数値が一部異なるのは年度途中で教員の異動があるためだが、改めて数値を整理し統一するとの回答があった。

(5) 平成 30 年度 J R 東日本寄附講座「いわて観光地域づくり講座」の実施結果について (資料No.5)

村田本部長から資料に基づき、平成 30 年度 J R 東日本寄附講座「いわて観光地域づくり講座」の実施結果について報告があった。

鈴木学長から、講座はいつまで継続するののかとの質問があり、これに対し、村田本部長から、J R 東日本からは、継続実施の意向が示されており、企画に当たり J R 東日本の意向も踏まえ早急に決定するとの回答があった。

(6) 国連アカデミック・インパクトの参加について (資料No.6)

狩野本部長及び鈴木学長から資料に基づき、国連アカデミック・インパクトに参加することについて説明があった。

委員から、参加をすることによって国連との連携等が期待できるとの意見があった。なお、国連アカデミック・インパクト Japan のホームページは、制度運用開始時のデータのままで、更新されていないとの指摘があった。

(7) 各種学生アンケート自由記述意見への対応状況について (資料No.7)

狩野本部長から資料に基づき、各種学生アンケート自由記述意見への対応状況について報告があった。

委員から、対応状況を学生に公開することは想定しているのかとの質問があり、これに対し、菊池企画室長から、本会議終了後に学内ホームページ上で公開する予定であるとの回答があった。

(8) 平成 30 年度「卒業年次生アンケート」の実施等について (資料No.8)

狩野本部長から資料に基づき、平成 30 年度に実施する卒業年次生アンケートについて説明があった。

(9) 第三期中期計画期間における収支ギャップへの対応状況について (資料No.9)

葛尾事務局次長から資料に基づき、第三期中期計画期間における収支ギャップを解消するための取組の 10 月現在の対応状況について報告があった。

報告事項 (資料報告)

(1) 平成 31 年度推薦入試等の選抜結果について (資料No.10)

(2) 平成 30 年度高大連携ウインターセッションについて (資料No.11)

(3) 平成 30 年度学位記授与式実施概要について (資料No.12)

(4) 平成 30 年度地域懇談会の開催結果について (資料No.13)

(5) 平成 30 年度学業奨励金奨学生の採用状況について (資料No.14)

(6) 学生サポートサロン研修会の開催について (資料No.15)

(7) 平成 30 年度夢灯り開催について (資料No.16)

- (8) 平成 30 年度知的財産セミナーの開催について (資料No.17)
- (9) 「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン」について (資料No.18)

その他

似鳥本部長から、資料報告 6 (資料No.15) に基づき、学生サポートサロン研修会を 12 月 21 日に開催することについて報告があり、併せて教職員出席の配慮について依頼があった。

鈴木学長から、姜高等教育推進センター長が韓国の花冠文化勲章を受賞されたことについて報告があった。